

顧客様へ、
BFM フィッティングをお使いになる前に…

1. BFM コネクターの嵌合部分は、金属製の継手“スピゴット”に正確に取付けられなければなりません。コネクタ-嵌合バンド部は、スピゴットの内円周に完全にカチッと入り込み、円周がすべて円状になるはずですが、すなわちコネクタ-嵌合部に、でっぱりなどが出来ないように、です。もし取付けの説明書がお手元になく、ご覧いただいているならば、弊社にお問い合わせ下さい。
2. スピゴットを既存ダクトやシュートに溶接される時は、スピゴットの間隔が適切な距離になるよう溶接されねばなりません。真っ直ぐなパイプでも少なくとも 10mm の“遊び”を推奨します。旋回する振動用途では 60mm を超える差を付けない場合もあります。
$$\text{スピゴット間 (IG)} = \text{コネクタ-呼び長さ (CL)} - \text{“遊び”}$$

“遊び” = 10mm @ 静止使用
= 20mm @ 芯ツレ使用
= 40mm @ 振動機器
3. BFM コネクタ-には、様々な材料でご使用いただけるものが用意されています。ご使用前には、これら材料の連続使用温度及び使用最高温度を必ずご確認ください、ご選定いただくことが重要です。
4. BFM フィッティングを減圧下の用途でご使用になる場合は、BFM 社ホームページを参照なさるか、弊社にお問い合わせいただき、特に通気性のない Seeflex040E をご使用になる場合、所定の減圧値をご確認下さい。
5. BFM フィッティングは、ほぼ 100%シールするよう作られていますが、これはすべての液状の製品に対して保証するものではありません。すなわち、経年で漏れが発生するかもしれません。
6. BFM コネクタ-の材料の選定に迷われましたら、お使いになる用途、使用温度、使用する薬剤（洗剤）などを、弊社にご相談下さい。適切なものを推奨いたします。
7. 予防的な保守 - いかなる BFM コネクタ-も寿命を予測することはできませんので、日常的な点検で、劣化の明らかな兆候のを見つけ出しをおこなって下さい。
8. 静電気の影響がある用途、木くず、小麦粉、粉乳などの場合、BFM スピゴット間のアース線で静電気の対応を推奨いたします。

お問合せ：BS アドバンス株式会社

電話：03-5579-6291 FAX：03-5579-6292 email：sales@bs-advansys.jp

